

# 東松山のエコタウン事業

## メガソーラー稼働

環境ベンチャーのスマートエナジー(東京・千代田)が埼玉県東松山市のエコタウン事業の一環として同市で建設していたメガソーラー(大規模太陽光発電所)が完成し、稼働を始めた。同社は今後、地域貢献策として売電収入を原資にブルーベリーなどを栽培する農場も設ける。

県と市が共同で取り組む東松山エコタウン事業の「中核的エリア」内にある耕作放棄地(約6万平方メートル)の一部(約2万7000平方メートル)に約8000枚の太陽電池パネルを敷き詰めた。太陽光発電の運営会社には、中古車販売の中部自動車販売(東京都東大和市)が出資している。事業費は約6億円。出力は約2000キロワットで、発電全量を東京電力に売電する。年間予想発電量は一般家庭約470世帯分の電力消費量に相当する210万キロワット時。年間8800万円の売電収入を見込む。

スマートエナジーと関連会社スマートエナジーサービス(東松山市)の両社は地域の農業再生を狙いに、メガソーラーの隣接地に売電収入の3%程度を活用してブルーベリーのほかハーブなどを栽培するエコファームをする。

整備。将来は地域貢献型メガソーラーを目指し、エコタウン事業の「重点実施街区」である近隣の市川地区の住宅や、市立病院、小学校との電力融通を可能にする地域内エネルギー管理システム(EEMS)の整備を検討する。